



嘉手納町人口ビジョン（案）

---

嘉手納町総合戦略（案）

嘉手納町

# 嘉手納人口ビジョン・嘉手納町総合戦略

## まち・ひと・しごと創生法とは

背景 - 地方創生の必要性 -

### 【現状】

1. 人口減少
2. 人口の東京集中
3. 地域経済の現状（停滞・衰退）

現状打開

### 【国家戦略】

1. 生産性の高い、活力にあふれた地域経済の効果
2. 頑張る地域へのインセンティブ改革
3. 民間の創意工夫・国家戦略特区の最大活用

### 目的（第1条）

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

## 国

国の長期ビジョン：2060年に1億人程度の人口を確保する長期展望を提示

国の総合戦略：2015～2019年度（5か年）の政策目標・施策を策定

まち・ひと・しごと創生：以下を一体的に推進すること。

まち……国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひと……地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと……地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

勘案

勘案

## 県

推計人口：縄島の総人口は2035年に約150万人、2050年に160万人程度

計画策定の：人口が増加基調にある現段階から、積極的な施策を展開し、地域の活力と成

意義：長力を維持・発展 計画期間を平成33年度までとする

### ■目指すべき社会

①安心して結婚し出産・子育てができる社会

婚姻率・出生率の向上、子育てセーフティネットの充実、女性の活躍推進、健康長寿沖縄の推進

②世界に開かれた活力ある社会

雇用創出と多様な人材の育成・確保、地域産業の競争力強化、U/Iターンの環境整備、交流人口の拡大、

新しい人の流れを支えるまちづくり

③バランスのとれた持続的な人口増加社会

定住条件の整備、特色を活かした産業振興、Uターン・移住者の増加

### ■取り組みの方向性

①県民気運の醸成

②社会全体での協力・応援体制の整備

③行政の支援体制整備

④県と市町村との連携及び広域連携の推進

勘案

## 町

### ■嘉手納町人口ビジョン

目標人口 14,000人（目標年 2060年）

現状

13,827人

4つのパターンのシミュレーション

目標人口  
平成72年

14,000人

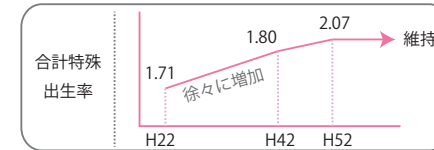
#### ①自然増（生存率）に関する対策

【平成72年（2060年）の推計人口：11,686人】

男性 嘉手納町平均寿命 > 県平均寿命 女性 嘉手納町平均寿命 > 維持

#### ②自然増（合計特殊出生率）に関する対策

【平成72年（2060年）の推計人口：13,123人】



#### ③社会増（移動率）に関する対策

【平成72年（2060年）の推計人口：12,636人】

転出 ▶ 0人 転入 ▶ そのまま推移

#### ④上記の対策全て（生存率 + 合計特殊出生率 + 移動率）

【平成72年（2060年）の推計人口：14,256人】

出生 = 死亡

出生 > 死亡

転入 < 転出

転入 > 転出

### ■嘉手納町総合戦略

まち

若い年代の定住を図るとともに、高齢者も住み慣れた地域で安心して快適に暮らせる地域づくりが望まれます。また、中部圏域の市町村とも連携し、「安心な暮らしを守り住みやすい地域づくり」及び「地域間連携の創出」による基本目標を設定し、住みよい地域づくりの創出を目指します。

ひと

子育て支援や医療、福祉などの観点より、子どもから高齢者の誰もが安心して快適に暮らせる環境が望まれます。そのため、「誰もが安心して過ごせる定住人口の創出」及び「結婚・出産・子育て環境の創出による若い世代への支援」による基本目標を設定し、誰もが安心して過ごせる環境づくりをめざします。

しごと

安定した雇用や若い世代の流出を抑制するため、「産業の振興による安定した雇用の創出」による基本目標を設定し、安定した職場の創出を目指します。

- |              |              |                   |                  |
|--------------|--------------|-------------------|------------------|
| 1. 安定した雇用の創出 | 2. 住み良いまちの創出 | 3. 結婚・出産・子育て環境の充実 | 4. 安心して暮らせる地域づくり |
| ・基本目標        | ・基本目標        | ・基本目標             | ・基本目標            |
| ・具体的な施策      | ・具体的な施策      | ・具体的な施策           | ・具体的な施策          |
| ・施策ごとのKPI    | ・施策ごとのKPI    | ・施策ごとのKPI         | ・施策ごとのKPI        |

## 1 安定した雇用の創出

## 《基本目標》

各種産業への育成・支援に取り組み、若い人の定住化に繋がる地域経済の強化を目指し、若い世代が魅力を感じる就業環境の創出を図ります。

## ＜数値目標＞

目標	基準値	KPI
完全失業者数	601人 (H22年)	540人 (H31年)
従業者数	4,462人 (H24年)	4,908人 (H31年)

## 《具体的な施策》

## 1 施策：魅力ある生産業（農・漁・工業）の振興

## ＜方針＞

- 水耕栽培や室内栽培などの活用を検討。
- 漁業用施設の有効活用を図り、生産基盤の安定。
- 農業・漁業との連携による6次産業化を展開。
- 付加価値の高い商品の開発を促進。
- 町独自の助成制度などにより経営を支援。
- 産業経営の近代化等を図る。
- 経営意識の高い人材の確保や後継者の育成、組織体制の強化。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
農家数（専業・兼業）	24戸 (H26年)	30戸 (H31年)
漁業従業者数	7人 (H20年)	10人 (H31年)
農業助成事業利用件数	4,932件 (H27年)	5,425件 (H31年)
漁業助成事業利用件数	2件 (H27年)	10件 (H31年)

## ＜施策＞

- 付加価値の高い農作物の選定及び導入の促進
- 6次産業化の促進に向けた必要な支援の在り方の検討
- 農業経営の近代化など農業経営への支援
- 漁業用施設の有効活用

## 2 施策：活気溢れる商業環境の形成

## ＜方針＞

- 商業及び商店街等の活性化を促進。
- 経営基盤の強化や人材育成。
- 商品力強化や販路開拓等の支援。
- 各種イベント等を支援。
- 商店街等に人が訪れる仕組みの構築に努める。
- 町内における情報通信環境の充実と情報通信産業の誘致を推進。
- 嘉手納町商工会と連携などの各種産業の活性化を目指した連携を図る。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
優良特産品等の品数	27品 (H27年)	30品 (H31年)
年間販売額（商業）	8,720百万円 (H26年)	9,000百万円 (H31年)

## ＜施策＞

- 商工会等への支援
- 各種イベントの支援
- かてな元気プロジェクト事業
- 地域商業振興事業（地域商品券事業）
- 優良特産品等の推奨

## 3 施策：地域資源を活用した観光産業の振興

## ＜方針＞

- 比謝川の豊かな自然を活用した、エコツーリズムの提供を推進。
- 道の駅「かてな」の飲食・情報発信・展望等の機能強化。
- 回遊性の高い観光拠点施設となる機能拡充。
- 音楽等をキーワードにしたまちづくりを推進。
- 各種スポーツの受入体制を強化などスポーツコンベンションとしての機能強化を推進。
- 計画的・戦略的な観光産業の進行施策を展開。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
道の駅「かてな」の来訪者数	50万人 (H24年)	70万人 (H31年)
スポーツキャンプ数	8件 (H27年)	10件 (H31年)

## ＜施策＞

- 道の駅「かてな」などの観光拠点施設の機能拡充
- うたの日コンサートなどの各種イベントの創出
- 情報通信産業雇用奨励金
- 情報通信産業借債補助金
- 町民の家の機能拡充
- 嘉手納野球場の機能拡充

- 屋良城跡公園の再整備
- 比謝川緑地広場の整備
- 観光協会の設置検討
- 対米請求権助成事業の活用推進
- 地域間連携・交流イベント助成事業の活用推進

## 4 施策：雇用対策の充実

## ＜方針＞

- 沖縄県と連携し、雇用情勢の改善及び町民の就業を促進する施策を検討。
- 生活困窮者に対し、県が設置する自立相談支援機関に繋げ、町内の就労環境の強化に努める。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
高齢者の就労人口	240人 (H22年)	290人 (H31年)
生活困窮者 自立支援制度活用就労者数	1人 (H27年)	5人 (H31年)
就職相談窓口利用者 の就職率	11.5% (H26年度)	12.0% (H31年度)

## ＜施策＞

- 就職相談の実施
- 高齢者への就業支援活動

## 2 住み良いまちの創出

## 《基本目標》

嘉手納町内では密集市街地や空き家空地等が課題となっており住む場所の改善が求められています。そのため、既存ストックを活かした住み良い場の創出により、長く嘉手納町に住みたくなる場の創出を目指します。

更に、人々が集まるイベントやコミュニティの場の創出及び整備を促進し、活気あふれる嘉手納町を見て知ってもらう機会を増やしていきます。

## &lt;数値目標&gt;

目標	基準値	KPI
転入者数	588人 (H25年)	646人 (H31年)
転出者数	719人 (H25年)	647人 (H31年)
嘉手納町への愛着度	68% (H27年)	80% (H31年)

## 《具体的な施策》

## 1 施策：良好な住環境の整備

## &lt;方針&gt;

- 密集市街地改善事業と合わせた、空家や空地等の利活用促進。
- 既存ストックを活かし、町民のニーズに合った場の創出を推進。(防衛省買上げ用地など)
- 住環境の整備を促進。(公営住宅等の戸数の確保、住宅入居等支援事業など)
- 地球温暖化防止に資する各種取組を推進。(バイオマス事業の促進や公共施設の照明等のLED化など)
- 騒音等の公害防止に対する周知・対策を行う。

## &lt;KPI※重要業績評価指標&gt;

目標	基準値	KPI
空家数	97戸 (H27年)	93戸 (H31年)
空地の箇所数	343箇所 (H27年)	326箇所 (H31年)
嘉手納町への定住意向	76% (H27年)	80% (H31年)

## &lt;施策&gt;

- 密集市街地整備
- 町営住宅等の住戸数確保
- 嘉手納町住環境整備事業の推進
- 住宅リフォーム支援
- 草木等のチップ化事業の推進
- 家庭用電気式生ごみ処理機補助金制度
- 地球温暖化防止実行計画の推進

## 2 施策：地域コミュニティの活性化

## &lt;方針&gt;

- 子供と高齢者などが交流できる場の創出。
- 子供会や青年会、老人クラブ活動などの活動支援。
- 地域連携の強化、促進を図る。
- 町民のニーズに合わせた地域に開かれた施設の整備、拡充。  
(ボランティアセンター、町内スポーツ施設、公園など)
- コミュニティセンター等の改修の支援を図る。
- 各種福祉サービスの分かりやすい情報を提供。
- 障害福祉サービスや地域生活支援事業の充実を図る。

## &lt;KPI※重要業績評価指標&gt;

目標	基準値	KPI
地域主体の事業実施回数	50回 (H27年)	60回 (H31年)
嘉手納町公共施設美化ボランティア助成金の利用団体数	7団体 (H26年)	10団体 (H31年)
図書館利用者数	28,199人 (H26年)	31,000人 (H31年)

## &lt;施策&gt;

- コミュニティセンターや文化センター等の地域活動拠点の整備、拡充、活用の促進
- 地域コミュニティ組織に対する助成、活動支援
- 図書館の機能とサービスを向上、ブックスタート事業の推進や館内行事の充実
- 嘉手納運動公園など都市公園の計画的な整備
- 成年後見制度や権利擁護事業の普及、活用、中部地域福祉権利擁護センター等の関連機関との連携のもと、対応する受け皿を確保
- 障害者支援事業の充実

## 3 施策：文化・スポーツ事業の推進

## &lt;方針&gt;

- 伝統文化や音楽などのテーマの下、文化・スポーツ等の町民との交流を促進。  
(世界のうちなーんちゅ大会などの町内交流事業など)
- 歴史的に貴重な場所や跡地等の有形文化財の保全、修景や周辺環境に配慮した整備。  
(屋良城跡公園や比謝川など)

## &lt;KPI※重要業績評価指標&gt;

目標	基準値	KPI
文化イベント来場者数	11,279人 (H26年度)	12,745人 (H31年度)
スポーツイベント数	7回 (H27年)	9回 (H31年)

## &lt;施策&gt;

- 各種スポーツ団体や嘉手納町に訪れるプロスポーツ団体等との連携・協力し、各種イベントを開催
- 屋良城跡公園や比謝川等の公園の整備
- 町民協働・参画型の文化イベントを企画、運営

## 3 結婚・出産・子育て環境の充実

## 《基本目標》

子育て世代の、出産・子育てへの不安や悩みをなるべく解消し、若い世代が結婚や子育てに希望がもてるよう対策を立てます。また、本町で育つ子供たちが健康でのびのびと成長し、地域を愛する心を持った次世代の担い手となるよう、学びへの支援にも力を入れていきます。

## ＜数値目標＞

目標	基準値	KPI
出生数	154人 (H25年)	160人 (H31年)
合計特殊出生率	1.71 (H20-H24年)	1.75 (H30-H34年)
待機児童数	27人 (H26年)	0人 (H31年)

## 《具体的な施策》

## 1 施策：結婚・出産支援の充実

## ＜方針＞

- 結婚を望む若い世代の安定した雇用の下、生活基盤を整える。
- 結婚や出産、子育てに希望を持てる取り組みを行う。
- 母子（親子）健康手帳交付時に保健師による面談を行う。
- 妊娠～出産に関する情報提供や健康相談を行う。
- 妊婦健診に関しても望ましい回数・健診項目とされているものについて公費負担。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
婚活イベント開催数	年1回	年1回定期開催 (H31年)
婚活イベント参加者数	154人 (H27)	200人 (H31)
結婚相談の開始	— (H27年)	結婚相談の開始 (H31年までに)
妊婦健診受診者数 (延数)	694件 (H24年度)	750件 (H31年度)
養育支援訪問件数	— (H27年)	1件 (H31年)

## ＜施策＞

- 母子保健事業（母子（親子）健康手帳交付、妊婦健康診査受診券の交付・妊婦健康診査費の助成、個別相談）
- 特定不妊治療助成金
- 結婚支援事業（街コン：商工会）

## 2 施策：子どもの健康支援

## ＜方針＞

- 乳幼児健診・歯科健診、予防接種の普及・啓発。
- こんにちは赤ちゃん事業による各戸訪問等の母子保健事業の充実。
- 食育の普及を図る。
- 子どもの健康保持のため医療費の一部を助成。
- 子ども医療費助成事業。
- (0歳～満15歳に達した以後の最初の3月31日までの者を対象)
- 子育て世帯への様々な負担軽減に努める。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
MRⅡ期接種率	88.7% (H26年度)	95.0% (H31年度)
おたふくかぜ ワクチン接種率	72.9% (H26年度)	75.0% (H31年度)
乳児一般健診	91.2% (H26年度)	95.0% (H31年度)
1歳6ヶ月児健診	90.7% (H26年度)	94.0% (H31年度)
3歳児健診	92.0% (H26年度)	92.0% (H31年度)
ニコニコ歯科健診	69.4% (H26年度)	92.9% (H31年度)
フォロー健診	59.6% (H26年度)	100.0% (H31年度)

## ＜施策＞

- 乳幼児健診等の母子保健事業の充実
- 町独自の子どもの医療費助成などの充実

## 3 施策：就学前教育・保育の充実

## ＜方針＞

- 待機児童の解消等を図るため、仕事と子育て両立を支援。(保育士の資質の向上、保育所施設、備品等の充実、各種特別保育事業を推進、サービスの向上)
- 幼稚園での3年保育を実施及び、認定保育園の設置に向けた検討を行う。
- 保育所、幼稚園、小学校間の連携を強化し幼児教育の充実を図る。
- 障害児の早期発見、早期対応、保育所や幼稚園の受け入れ態勢の充実。
- 就学前児童の健全育成等の支援。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
1号 認定施設の実定員数	116人 (H27年)	170人 (H31年)
2号 認定施設の実定員数	160人 (H27年)	268人 (H31年)
0歳の3号 認定施設の実定員数	37人 (H27年)	55人 (H31年)
1・2歳の3号 認定施設の実定員数	129人 (H27年)	188人 (H31年)

## ＜施策＞

- 認可外保育施設の認可化
- 各種特別保育事業への補助
- 未熟児などへの支援体制がとれるよう、専門機関との連携強化

- 保育料の補助制度拡充
- 認定こども園の実現に向けた事業の推進
- 保育所、幼稚園、小学校間の連携を強化

## 4 施策：学習の機会の創出

## ＜方針＞

- 安全で地域に開かれた、時代に対応できる教育施設の充実。
- 国際的な視野を持つことができる人材の育成。
- 個性を伸ばす学習指導の工夫。
- 子どもたちの学習支援。
- 居場所づくりを行う地域ボランティア活動の普及。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
教育施設建て替え 実施数	— (H27年)	4件 (H31年)
嘉手納外語塾の 入塾者数	14人 (H27年度)	15人 (H31年度)
奨学金等の利用者数	12人 (H27年度)	20人 (H31年度)

## ＜施策＞

- 小学校等老朽化が見られる教育施設の整備
- 嘉手納町・大山町児童交流事業推進
- 秋田県大館市での「学習交流体験事業」の継続
- ハワイ短期留学派遣事業の推進

- 英語検定受験料補助事業の推進
- 嘉手納外語塾の運営
- 奨学金等の利用促進
- 小中一貫した情報教育や英語教育の推進

## 5 施策：子育て世帯への支援

## ＜方針＞

- 嘉手納町子ども・子育て支援事業の推進。
- 関連各課や地域及び関連機関との連携体制を構築。
- 地域で安心して子育てができる環境の創出を図る。  
(放課後児童クラブや児童館活動、子供会活動の充実など)

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
放課後児童クラブ の利用者数	90人 (H27年)	90人 (H31年)
放課後子ども教室 の利用者数	116人 (H27年)	120人 (H31年)
子育て支援センター 利用者数	2,422人 (H27年)	2,602人 (H31年)

## ＜施策＞

- 嘉手納町子ども・子育て支援事業の推進
- 食育に関する普及啓発
- 地域の自然や人材を活かした学びの場の創出

- 児童生徒の給食費補助
- 教材費助成の継続実施

## 4 安心して暮らせる地域づくり

## 《基本目標》

安心して暮らせる居住環境のために、日常の防犯や健康への意識の向上を図ると同時に、急な災害にも対応できるよう、大規模災害に向けた対策を立てておく必要があります。また日常生活の中で住み良い環境づくりとして、バリアフリーやユニバーサルデザインの考えに基づいた整備や地域に開いた施設の整備を行います。

## 《具体的な施策》

## 1 施策：安心して暮らせる居住環境の確保

## ＜方針＞

- 公共施設や公営住宅のバリアフリーの推進、ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を行う。
- 事業効果や地域に与える影響に十分考慮し幹線道路等の整備。(交通ネットワークの充実)
- 町道や未認定道路の整備、道路の維持管理等を強化。(生活道路の整備)
- 住み慣れた地域で出来る限り暮らし続けることができる仕組みづくり。

## ＜施策＞

- 民間賃貸住宅に住みやすい環境づくり
- 障害者に配慮した公営住宅の整備を推進
- 公営住宅への障害者等の優先的入居の継続

## ＜数値目標＞

目標	基準値	KPI
平均寿命	男性：78.5歳	79.4歳
	女性：88.1歳	88.1歳
	(H22)	(H31)
嘉手納町を住み良いまちとして感じる人の割合	85.6%	90.0%
	(H27)	(H31)

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
小地域福祉活動を実施する自治会数(見守り隊)	1件	6件
	(H26年度)	(H31年度)
嘉手納町高齢者居住サポート事業	0件	5件
	(H27年)	(H31年)

- 見守り、支え合いの体制づくり
- 道路交通ネットワークの充実
- 生活道路の整備、利便性の向上

## 2 施策：災害に強い地域づくり

## ＜方針＞

- 災害時要援護者の把握・対策。これら活動の支援を推進。
- 地域防災組織の新設の促進。
- 町民の防災に対する意識啓発に努める。
- 今後津波に対応した施設への改築に向け検討を進める。(海岸に近い西浜区地域に所在する公共施設)

## ＜施策＞

- 嘉手納町災害時要援護者避難支援の推進
- 生活道路の整備、利便性の向上
- 公営住宅等の避難ビル認定

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
避難ビル認定棟数	1棟	2棟
	(H27年)	(H31年)
避難訓練実施回数	3回/年	4回/年
	(H27年)	(H31年)

## 3 施策：町民の健康の向上と介護予防

## ＜方針＞

- 健康・食育の周知、特定健診やがん検診の受診勧奨。
- 町民一人ひとりの健康づくりについて意識の向上を図る。
- 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送る事ができるように取り組む。(健康づくり・生きがいづくり、介護予防事業)
- 障害福祉、地域福祉の総合的・計画的な推進を図る。
- 地域福祉推進体制の強化に努める。

## ＜施策＞

- 生活習慣病の発症予防と重症化予防
- 高齢者への医療保険料の補助
- 生きがいと健康づくり推進事業の推進
- ふ～体操等の介護予防教室を充実強化

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
特定健診受診率	35.4%	45%
	(H26年度)	(H31年度)
大腸がん検診受診率	12.7%	20%
	(H26年度)	(H31年度)
乳がん検診受診率	15.9%	20%
	(H26年度)	(H31年度)
生きがいと健康づくり推進事業開催日数	145日	145日
	(H27年)	(H31年)
介護予防教室回数	610回	610回
	(H27年)	(H31年)
地域包括支援センター相談件数(総合相談件数)	296件	500件
	(H27年)	(H31年)

- 地域包括支援センターの機能強化
- 地域・企業等と連携した健康づくりアプローチ
- 障害福祉関係事業所の誘致を促進
- 障害者福祉サービスの向上

## 4 施策：周辺市町村との連携強化

## ＜方針＞

- 周辺市町村と連携し進めている各種事業等、今後も普及促進や活用に努める。
- 効率性や利便性を踏まえて、市町村を超えて連携し進める事業等を模索。

## ＜施策＞

- 北谷町、北中城村と連携し、ファミリーサポートセンター事業の周知・推進、会員数の増加に取り組む
- 北谷町、読谷村と連携し、乳幼児健康支援一時預り事業の周知を図る。
- 読谷村と連携し、町立図書館の相互利用により住民の生涯学習の場の拡大と利便性を図る。

## ＜KPI※重要業績評価指標＞

目標	基準値	KPI
ファミリーサポートセンターの登録数	197件	250件
	(H26年)	(H31年)
乳幼児健康支援一時預り事業利用者件数(延べ人数)	41件	50件
	(H27年)	(H31年)
嘉手納町立図書館相互利用者数	6,072人	6,600人
	(H26年)	(H31年)

## 第3章 各種施策の客観的な効果検証

### 1. 地域との連携

本総合戦略は、町民、地域、団体、企業、行政等各種機関が共有し、協働しながら進めていく必要があり、本総合戦略で掲げた数値目標並びに重要業績評価指標（KPI）についても、町全体での目標の共有化と成果を重視した取組みの展開を実施する。

町民が一体となったまちづくりを推進するためにも、アンケートやワークショップ等により、町民の声を反映させる機会を設け、町民のニーズに合った計画を策定、実現に向けて連携していく必要がある。

### 2. PDCAサイクルの構築

町全体が関わる体制を構築するとともに、PDCAを繰り返すことにより、よりよい成果を生み出していく必要がある。

そのため、実行状況を見直し・改善等の提案を行うための組織として、嘉手納町地方創生戦略評価委員会（仮称）を設置する。

※評価委員会は、学識経験者、町内の事業者、団体、自治組織等の代表により組織する。

#### Plan 計画策定

4つの基本目標に合わせた施策を計画し目標を定めます。

#### Do 実行

定めた目標の達成に向けて計画を実施します。

#### Action 見直し・改善

点検・評価を受けて見直し、次の計画策定に向け改善を行います。

#### Check 点検・評価

計画で定めた目標が達成できているか点検・評価します。



### 3. PDCAサイクルの実施と戦略の見直し・改善

年度終了後に、戦略の実行状況を点検・評価し、見直し・改善についての検証並び検討を行う評価委員会を開催し、計画推進のマネジメントを強化し、着実に推進される計画とする。